



馬、駆ける

緑まぶしい季節になりました。京都では毎年5月に「馬」の走るお祭りがあります。

葵祭では、下鴨神社と上賀茂神社で神事があり、もうひとつ藤森祭では藤森神社では駈馬神事が行われます。



葵祭（正式には賀茂祭）

京都三大祭りのひとつに数えられ、平安時代、「祭」といえば賀茂祭のことを指しました。行列の御所車や、衣装、冠などに緑の葉が飾られますが、これは桂の小枝に下鴨神社と上賀茂神社の神紋である二葉葵の葉を絡ませたもの。このために「葵祭」と呼ばれます。



5月3日 下鴨神社 やぶさめ 流鏝馬神事

葵祭に先立つ清めの儀式として、馬を走らせながら弓矢を射る行事。境内の糺の森の馬場で、平安時代の公家装束を身にまとった射手が馬を疾走させながら、3つの的に向かって矢を放ちます。



5月5日 上賀茂神社 くらべうまえ 競馬会神事



こちらも葵祭の前に行う儀式。騎手が舞楽装束をつけ、2頭一対で5組の馬が早さを競う神事です。

織田信長や足利義満などが観覧された記録が残っていると。か。

下賀茂神社境内 さるもち 「さるや」の申餅



下鴨神社の名物として140年ぶりに復元された御餅。明治時代の初め頃まで葵祭の最中に食べられていたそうです。

さらに

葵祭は15日の行列の後に、下鴨神社では糺の森の馬場を、上賀茂神社では一之鳥居からの参道で馬を疾走させます。

藤森祭（別名深草祭）

863年、天皇の長寿と国家の安穩を祈念し始められた藤森祭は藤森神社で行われます。馬と武運の神社として信仰を集め、馬と勝負事の神社としても知られています。

5月5日 ふじのもり 藤森神社 かけうま 駈馬神事

駈馬神事は、乗り手が馬を駆りながら、様々な技を披露するというもので「手綱潜り」「逆立ち」「横乗り」「一字書き」「矢払い」「逆乗り」など、迫力のある技を見ることができます。

武者行列も有名で、子どもの日に武者人形を飾るという菖蒲の節句の発祥の祭とも言われています。



馬の神様として信仰があり、馬主、騎手などの競馬関係者の参拝も盛んな神社。競馬ファン必見の勝馬守というお守りもあります。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、各行事は中止や観覧できない場合があります。開催についてはホームページなどご確認ください。

新経営サービスのブログご紹介

新経営サービスのコンサルタントが各サイトで公開している最新のブログ・コラムから紹介します。



人事戦略研究所

株式会社 新経営サービス

ブログ <https://jinji.jp/blog/blog01/index.php> 続きはこちらのサイトで

人事評価制度を新入社員の早期育成に活用するために

[人事戦略研究所 コンサルタント 田中 宏明]

今年も4月を迎え、新入社員を迎えられた会社もあると思います。コロナの影響で例年通りにはいかないにしろ、今頃は研修で忙しいところかもしれません。

よくこの時期に弊社のお客様より、「新入社員の方も人事評価をすべきか？」と聞かれることがあります。お伺いするのは例えば、配属されたばかりの社員はまだ一人前になっていないのだから、あるいは初年度から賞与や昇給などに差をつけることは想定していないので、わざわざ評価をする必要はないのではないか、といったお話です。

...



人事制度のつくり方

Powered by 人事戦略研究所

コラム <https://jinji.jp/blog/blog01/index.php> 続きはこちらのサイトで

ベンチャー/スタートアップ企業はいつから評価・賃金制度が必要？

[人事戦略研究所 コンサルタント 本阪 恵美]

創業から日が浅く社員が10名未満程度の場合は、必要最低限の賃金制度が定められていて、その他の細部は決められていない、という企業様もあると思います。あるいは評価制度・賃金制度が明確でなくても現時点では問題がない、というご認識の企業様もあるでしょう。

しかし、企業が成長していくと、遅かれ早かれ評価・賃金制度の必要性がでてくると思います。それがいつなのか、企業が成長していくにつれて組織によく起きる2つの現象から考えてみたいと思います。

...

人材・組織開発サービス

■新経営サービス

コラム <https://skg-od.jp/column/> 続きはこちらのサイトで

～目標達成し続けるチームづくり～ 【第28回】新しいアイデアを生み出すために

[人材開発部 シニアコンサルタント 南野真彦]

先日ある企業(以下A社と記載)にて、幹部の方から経営会議についての話をお聞きました。

A社はここ数年、ある分野の商品群でトップシェアを取り続けているものの、市場自体が縮小しているために、売上が緩やかに右肩下がりになっていました。

そこで、どうすれば売上の低下を食い止めることが出来るのかについて、経営幹部で話し合いが持たれました。なぜこのような現象が起こってしまうのでしょうか。よくある例で説明します。

...

<あとがき>

新型コロナウイルス予防のために、今年も各地のお祭りが中止になっています。神様仏様にウイルスを鎮めてもらえるなら、もう少しの辛抱も仕方がないですね。来年こそは、の思いで気を緩めずに心して過ごしたいと思います。(木下)



発行 株式会社新経営サービス

〒600-8102 京都市下京区河原町五条西入本覚寺前町830 京都EHビル6F

TEL 075-343-0770 FAX 075-343-4714

URL: <https://www.skg.co.jp> E-mail: mas@skg.co.jp